

2月 ピッコロだより



[2月の活動] ~ 身の回りのルールを知る / 得意なことを発表する ~

月	火	水	木	金	土
1 自分の回りの ルールを知ろう	2 自分の回りの ルールを知ろう	3 自分の回りの ルールを知ろう	4 自分の回りの ルールを知ろう	5 自分の回りの ルールを知ろう	6 自分の回りの ルールを知ろう
8 自分の回りの ルールを知ろう	9 自分の回りの ルールを知ろう	10 自分の回りの ルールを知ろう	11 休み (建国記念日)	12 自分の回りの ルールを知ろう	13 自分の回りの ルールを知ろう
15 運動	16 得意なことを 発表しよう	17 運動	18 自分の回りの ルールを知ろう	19 運動	20 得意なことを 発表しよう
22 得意なことを 発表しよう	23 休み (天皇誕生日)	24 得意なことを 発表しよう	25 得意なことを 発表しよう	26 得意なことを 発表しよう	27 得意なことを 発表しよう

専門職の来所日は下記になります。

- ・公認心理師(松本): 2日(火)、8日(月)、20日(土)、26日(金) ・理学療法士(樋口): 4日(木)、10日(水)、19日(金)、22日(月)
- ・言語聴覚士(永山): 3日(水)、6日(土)、9日(火)、15日(月)、17日(水)、19日(金)、25日(木)、27日(土)

(今月の主な活動) 身の回りのルールを知る / 得意なことを発表する

ねらい: 学校、外出先、自宅等、集団生活でのルールやマナーの確認 / 自分の得意なことをみんなに紹介し、称賛される経験をする

☆社会で決められたさまざまなルールやマナーを知ります。また、身近なルールやマナーについて自分の考えを発表したり、クイズを出し合ったりしながら、集団生活の中で守るべきルールやマナーを確認します。

<自分の回りのルールを知ろう>

☆自分の得意なことをみんなの前で発表し合い、友だちに称賛される経験をしてもらいます。また、称賛されることで達成感や自己肯定感を高めたり、新たな友だちの一面を知って友だちとの絆を深めたいします。

<得意なことを発表しよう>

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・個別での引継ぎを希望される方は、職員へ事前にお伝えしていただけたら、対応させていただきますので、お知らせください。
- ・社会福祉法人 落穂会のホームページ(<http://www.asahigaokagakuen.jp/>)におたよりを掲載していますので、ご確認ください。実績記録表について、これまで請求書に同封していましたが、当日にご署名を頂くシステムに変更致しました。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。
- ・活動風景の見学ご希望の際は、職員へご相談ください。ご希望を伺い、日程調整をさせていただきます。
- ・登園時間は、平日 16時20分まで、土曜日(午前)10時20分まで、(午後)13時50分までにお願いします。
- ・お迎えは、平日 17時20分~18時の間、土曜日(午前)11時50分~12時10分の間、(午後)15時20分~15時40分の間でお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

[キャンセル待ちについて]

- ・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

[欠席連絡について]

- ・平日は 16時以降、土曜日(午前)当日 9時30分以降、(午後)13時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥60/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。
- ※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。

[1月の振り返り]

<お正月遊びをしよう>

・昔ながらの遊び(かるたや福笑い等)をしました。自分たちで遊ぶ時間や順番、ルール等を考えながら、友だちみんなと楽しく遊ぶことができました。

<気持ちを表現しよう>

・自分の気持ちを適切な表現で相手に伝える練習をしました。印象に残っているエピソードを振り返り、そのときに感じた気持ちを発表しながら、人によって気持ちの感じ方が違うことや相手に正しく気持ちを伝えることの大切さを学びました。

「セルク、ピッコロと共に歩んだ6年間を振り返って」

ピッコロ利用者の母

息子が、セルク、ピッコロに通い始めて、早いものでもうすぐ6年の年月が経とうとしています。

私が息子の発達に違和感を感じたのは、生後4、5か月の頃でした。「息子はなかなか笑わないな。そういえば視線も合いづらいような…」と気が付いたのがきっかけです。自ら動く手段を身に付けても、なかなか親に近寄って甘える様子もなく、ちょっぴり寂しい乳児期の子育てでした。

成長とともに、言葉でコミュニケーションは取れるようになってはきたものの、こだわりが強く、たびたび癇癪を起す息子。

保健士さんや小児科の先生にも相談しても、「様子を見ましょう。」と言われ、支援センターに連れて行っても周りの子との違いに戸惑い、落ち込むこともありました。

そんな私にとって、息子が3歳になって通い始めたセルクは、どれほどありがたい存在だったことか。

息子のよいところをたくさん誉めてくださり、何か問題を起こしても、それをチャンス捉えて、一緒になって解決の道を探ってくださる先生方。幼稚園に通い始めてからは、時には担任の先生と連携を取りながら、どうすれば息子が日々の生活を送りやすくなるか、一緒に考えてくださいました。私の不安や愚痴にも寄り添ってくださり、一人で子育てしているわけではないのだと思えたことで、随分と気持ちに余裕を持てるようになったのです。

現在息子は8歳。週に一回、放課後等デイサービスのピッコロでソーシャルスキルトレーニングを受けています。一時は、家の中に避難場所を作っていたほど酷かった癇癪を起こすことは、ほとんどなくなりました。

苦手な事はたくさんあります。

でも「僕、本当に○○苦手なんだよね～」と自ら口にして、そんな自分のことも受け入れているようです。

ピッコロに迎えに行くと、先生方は「誉めてあげてくださいね。」と、息子のその日の様子を報告してくれます。

先日、先生に「こんなに些細な事で褒めてもらえる小3って、なかなかいないんじゃないですかね？」と、笑いながら話をしました。

でもきっと、6年間のセルク、ピッコロの先生方に支えられて歩んできた日々の積み重ねが、今の息子の前向きさや自信に繋がっているのだろうなと思ったのです。

成長するにつれ、また新たな問題に直面して、息子が悩んだり、落ち込んだりすることもあるかもしれませんが、でも、これからも「あなたには素晴らしいところも、できることもたくさんあるんだよ。」ということ伝えて、彼が夢中になれることを応援して行きたいなと思います。

